

快適なグッズ製作に
欠かせない
MiScreen a4
関連商品
ご用意しています



インクカラーもラインナップ豊富!



スキーージは3サイズご用意!



アルミフレーム、ワンタッチフレーム、
紙フレームがあります!

RISO オンラインショップ



<https://store.shopping.yahoo.co.jp/riso-screen/>



<https://gocccoproforum.net/jp/>

お問い合わせ

RISO 理想科学工業株式会社
プリントクリエイティブ事業部

お客様相談室
☎ 0120-343-338

受付時間 10:00~12:00 13:00~17:00
(土・日・祝日・夏期休業・年末年始を除く)

東京都港区新橋2-20-15 新橋駅前ビル1号館4階

<https://www.riso.co.jp/product/digitalscreenmaker/miscreen/a4/>



屋外イベントでも便利!



PARTS

スクリーン印刷や活版印刷などアナログプリンティングによるものづくりを広めるクリエイター集団。「移動式プリンティングカー」にプリント機を搭載して、公園や商業施設など様々な場所でワークショップをおこなっている(左から古賀さん、市橋さん、西山さん)。

かなさなは

2021.5.15~16 会場:那覇市

市制100周年を迎える那覇市の記念事業「かなさなはプロジェクト」(主催:新世紀那覇実行委員会)。イベント会場では、市の花「ブーゲンビリア」を自分でスクリーン印刷するワークショップがおこなわれ人気だった。



MiScreen a4 なら

どこでも
手軽に

スクリーン印刷ができる!

ワークショップに活用



PARK JAM

2020.11.21~22 会場:花博記念公園鶴見緑地

1990年に開催された「国際花と緑の博覧会(花博)」の30周年記念イベント(大阪市主催)。PARTSが企画したスクリーン印刷体験「青空美術館」が公募で選ばれて出店した。

スクリーン版を持ち上げると子ども達の歓声が上がる。真っ白なTシャツに刷られたのは鮮やかなブーゲンビリアの花……これは、5月15、16日に那覇市でおこなわれた「かなさなはPROJECT」のイベント会場での光景だ。

このスクリーン印刷体験をおこなったのは、関西を拠点に活動するクリエイター集団「PARTS」。彼らは、これまで大阪府主催の「PARK JAM」などの屋外イベントで同様のスクリーン印刷体験をおこない人気を博した。水洗設備など作業環境が思うようにならない屋外で、未経験者にスクリーン印刷をさせるという難題に彼らが選んだのは理想科学工業の小型デジタルスクリーン製版機「MiScreen a4」(マイスクリーンエーフォー)。以下、マイスクリーンだ。

イベント、ワークショップ、
プリント業者のサブ機としても

マイスクリーンは、乳剤などの薬品や水を使わない「RISOドライ感熱スクリーン製版システム」による卓上サイズのデジタルスクリーン製版機で、暗室や水洗設備なしでスクリーン印刷が手軽におこなえる。理想科学工業のデジタルスクリーン製版機といえば、印刷工場で求められるプロユースの性能を持った「ゴッコプロシリーズ」が知られているが、マイスクリーンの特長はコンパクトで手軽なところだ。操作方法はパソコンと接続してデータを転送、後はマスターをセットして本体を手で押すだけ。最大A4サイズのスクリーン版が卓上で手軽に製版できる。製版時間も約35秒とスピーディー。マスターは水性インクに対応した120メッシュ。価格はオープン

PARTSのメンバーである市橋英紀さんはその理由をこう説明する。「プリンターを使った転写は機材が重くて搬入が大変な上、参加者自身が手がける作業が少なくても足りない。ものづくり体験やワークショップにこの方式は向いていないと思いましたが、写真製版方式だとコストや機材の面で手に負えません。そんなとき、プリンター感覚でスクリーン製版が出来るマイスクリーンのことを知り、すぐに購入しました。」

場所を選ばず使えて簡単操作
集客は3~4倍にアップ

マイスクリーン導入後におこなったプリント体験(2日開催)では1日あたり約40人の参加があり、転写方式の時と比べ3~4倍の集客があったそうだ。

マイスクリーンの長所について市橋さんは、「マイスクリーンは重さ約2.9kgと軽いので持ち運びが楽です。製版は、子ども達がサインペンで手描きした原稿をスキャンしてパソコンからマイスクリーンに転送するだけ。その後、子ども達自身がスキーージングするのでインクを使ったアナログ印刷の良さに触れるこ



Compact & Easy
MiScreen a4

大きさ: W395×D110×H89mm
質量: 約2.9kg
製版サイズ: 最大/幅210×長さ300mm
フレームサイズ: 310×430mm、310×250mm
解像度: 203×203dpi
製版時間: 約35秒
標準価格: オープン価格

簡単4ステップでスクリーン印刷



1 専用のフレームにマスターを貼る。
2 パソコンから印刷データを転送。
3 MiScreen a4のカバースイッチを手で押す。約35秒で製版完了。
4 印刷対象物に版をのせてスキーージングする。

ン価格(「RISOオンラインショップ」では税別・24万8000円で販売中)。

手軽でコンパクト、しかもリーズナブルでありながら、プリントビジネスでの使用に十分な性能を備えていることから、店頭で簡単なスクリーン印刷をするためのプリント業者のサブ機として注目されている。

最近、増えているのはワークショップやイベントでの活用だ。冒頭で紹介した「PARTS」も、以前はトナー式プリンターと転写紙を使ったプリント体験をおこなっていたが半年前にマイスクリーンを導入した。

とが出来ます。水性インクを使っているので刷り上がった作品は自然乾燥。水洗設備も不要なので場所を選びません。」

さらに「初心者でも簡単に操作できる点もメリット」と市橋さん。

「熟練のスタッフが付ききりでも操作できるのです。会場が遠隔地でも運用できます。実際に、5月におこなわれた沖縄のイベント「かなさなは」では、コロナ禍の影響でわれわれ関西のスタッフが渡航できなかったのですが、事前に現地のスタッフがレクチャーしただけで運用できました。スクリーン印刷でもっとも煩わしい製版工程がどこでも簡単にでき、誰でも使いこなせるマイスクリーンだからこそ、手づくりの楽しさを味わえるワークショップが開催できたと満足しています。」

近年は一般消費者だけでなく、プロのデザイナーやクリエイターがFAB施設やプリント業者のワークショップを利用して、自らグッズづくりをおこなうケースも増えている。理想科学工業は、そういった新たなニーズに応えられるデジタルスクリーン製版機のみならず、各種インクやスキーージなどの周辺資材も取り揃えているので、初めての方でも安心して活用できるだろう。